

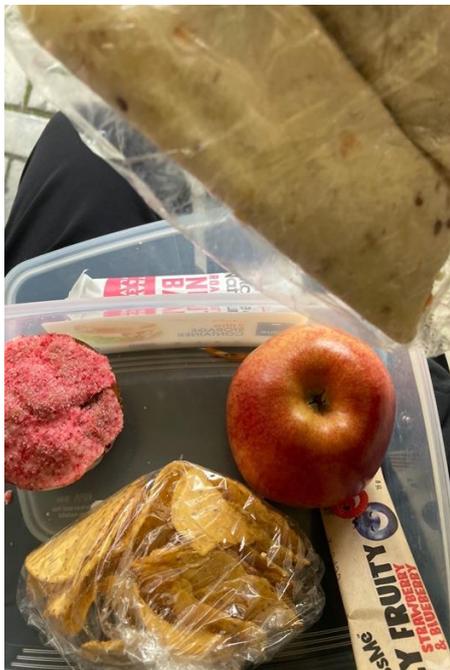
日本とニュージーランドの弁当（ランチボックス）の違いについて

岡山大安寺中等教育学校 津尾 海瑠

日本の弁当はおにぎりの進化系である「おにぎらず」や「キャラ弁」などエンターテイメント的な要素が世界でも注目を集めているが、ニュージーランドではどうなっているのかりサーチした。

New Zealand

- ランチボックスの中に丸ごとフルーツが
- お菓子も入っている
- プラスチック製の容器
- 食材がそのまま
- サンドイッチや食パンがそのまま入っている
- シンプルでダイナミック
- 容器が大きい



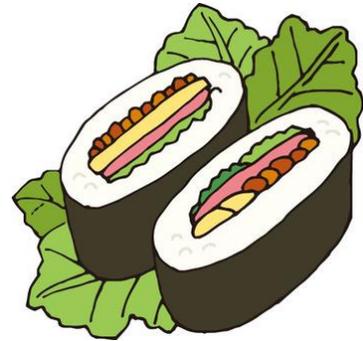
JAPAN

- 栄養バランスが考えられている
- いろいろなおかずが詰められている
- 色々な種類のお弁当箱がある
- 持ち運びがしやすいようにバックに入りやすいサイズ



感想

ニュージーランドのランチボックスは日本の弁当とは全くちがうことがわかった。持参していたカバンに対してランチボックスが大きすぎたため、いつもランチボックスでカバンがいっぱいになるほどだった。



た。各国の食文化に応じた弁当（ランチボックス）になっていると感じた。僕がホームステイした先のランチボックスでは必ずフルーツが皮ごと丸ごと一つとスナックが入っていた。自分でもランチボックス作りに挑戦できそうだった。

今回、ホームステイを通じて弁当文化にも違いがあることが興味深かった。